



2025(令和7)年 12 月

なぎなた通信 第8号

発行責任者 会長

大谷翔平の言葉

「とてつもなく楽しい」
からこそ続けられる

第28回わくわくなぎなたフェスティバル 初心者向けなぎなた体験会

私たちがなぎなた連盟は、去る10月12日(日)に行われたリズムなぎなた発表会の後、今年度初めての試みとして、初心者向けの「なぎなた体験会」を行いました。

今回、子どもたちや保護者の皆様に、「なぎなた」のおもしろさを体験してもらう機会を提供し、愛好者を増やすことを目的として実施しましたが、幼児や小・中学生、大人の皆様など多くの参加があり、たいへん盛り上がりしました。その様子を写真でお伝えします。



体験会に参加した皆さんも
一緒にパチリ！



参加者全員で
素振りの練習
掛け声も勇ま
しかったよ！



ママたちも真剣です。いいね！



二歳児の子ど
もの真剣な様
子に会場から
も温かい拍手
がありました



高校生から面打ちを習う
パパの真剣な顔、いいね！

人物紹介コーナー

今回は、仙台育英学園沖縄高等学校でなぎなた部を立ち上げた経緯や活性化を目指して活動されている、岡崎一美さんの経歴、人となりを紹介させていただきます。

なお、紹介者は、仙台育英学園沖縄高校の職員、仲盛康治氏です。

仙台育英学園沖縄高校なぎなた部 岡崎一美コーチのお話

「第24回全国高校なぎなた選手権大会個人戦で全国一に輝いたのが知念一美さん（現仙台育英学園沖縄高・コザクラブ指導者の岡崎一美さん）です。中学時代は剣道、そして、知念高校に入ってなぎなたに出会い、そこから全国チャンピオンへそして現在は指導者として活躍しています。

岡崎さんは、1987年の海邦国体で選手として活躍後、宮城県に嫁ぐことになりました。しばらく競技を離れていましたが、なぎなたへの思いが再燃し、稽古を重ね宮城県大会で優勝。ちょうど1990年に体育の授業でなぎなたを導入し、国体出場の常連校となった仙台育英学園の高田光子先生との出会いが現在の仙台育英学園沖縄高そしてコザクラブの指導をするきっかけとなりました。

ちょうど宮城県はその頃国体を控えており、その気運も高まる中、岡崎さんは仙台育英学園のなぎなた部と共に汗を流ししばらく宮城県の代表として活躍しました。

縁あって仙台育英学園のコーチとして選手を育て上げ、その後沖縄に戻ります。2014年仙台育英学園広域通信制沖縄が誕生、2022年に新校舎ができました。仙台育英学園が沖縄にできた理由は、実は東日本大震災がきっかけです。

宮城県の校舎が被災し、懸命になって復興させた後、沖縄に訪れ、青い海を眺めているときに沖縄の方から、「宮城から来たのか震災大変だったね、しっかり頑張っていていいね」の声かけで救われたとのこと、是非恩返しをしたいとの思いでできたのが仙台育英学園広域通信制沖縄、全日制的の沖縄高校です。仙台育英学園の加藤雄彦理事長から「岡崎さん、沖縄の中部の町、コザになぎなたを！との熱意に押されて引き受けました。現在、全日制高校がスタートすると同時に岡崎さんは、なぎなた部のコーチとして、そしてコザクラブの代表として現在に至ります。

「いつか、全国に通用する選手を育てたい！」その熱き思いで今日もなぎなた生活に勤しむ岡崎さんです。

